

NPO法人 福島農業復興ネットワークのニュースを
年に4回(4・7・10・1月)発行してお伝えしていきます！

編集・発行/2013年1月発行 FAR-Net事務局 HP : www.far-net.or.jp

〒963-0201 福島県郡山市大槻町字古屋敷67

TEL :024-953-6566 / FAX:024-983-7756

ミネロファームをfacebookでも発信中！⇒ www.facebook.com/minerofarm

Vol.2
Jan

～新春コラム 一〇懸命について～

新年明けましておめでとうございます。

今年のお正月は皆様いかがお過ごしになりましたでしょうか。

さて、ミネロファームの場長である田中が年末のある日、こんなことを言っていました。

「一所懸命とは一ヶ所。つまり、ある期間だけ頑張る事やひとつの場所に命を懸けること。一生懸命とは、命がけで物事をする。全力をあげて何かをすること。だから自分は自分で経営していた牧場に今帰ることが出来なくても、牛を飼ってどこでも一生懸命生きていくんだ！」と。

現在では一所懸命でも一生懸命でも、どちらの使い方も正解だそうですが、何を大切にしているのかはそれぞれ違います。ただ言えることは、自分に与えられた使命を、地道に、ひとつずつ、目の前のできることから取り組んでいくことではないかと考えさせられました。本年も変わらぬご支援をよろしくお願い申し上げます。皆様のご健勝とご発展をお祈り申し上げます。

会員募集リーフレット完成しました！！

ご入用の方は事務局までご連絡下さい！

入会のお申し込みは
入会ご希望の方は、申込用紙に必要事項をご記入の上、FAXまたは、郵送にてお申し込みください。ホームページからダウンロードすることも可能です。

〒963-0201 福島県郡山市大槻町字古屋敷67
TEL :024-953-6566 FAX:024-983-7756
E-mail : info@far-net.or.jp

963-0290

福島県復興ネットワーク
NPO法人

ミネロファームは、最新情報Facebookで発信しています。是非、ご覧ください。www.facebook.com/minerofarm

酪農出前講座／うつくしまも～も～スクールを開催しました！



2012年11月1日・20日・30日の3日、福島県酪農青年研究連盟主催、FAR-Net共催にて、白河市立みさか小学校、喜多方市立上三宮小学校、須賀川市立西袋第二小学校にて「うつくしまも～も～スクール」を開催しました！

下は幼稚園児から上は小学6年生まで多くの子供たちが参加しました！

酪農家のお話し、搾乳体験、子牛とのふれあい、バター作り体験と4つのブースを開設し、全員がすべてのブースを体験できるようローテーションにて行いました！

酪農家のお話しでは、酪農家の一日の仕事内容やどうやって牛乳が出来るのかを学んでもらい、搾乳体験では実際に手搾りで命の温もりを感じてもらいながらお乳を搾ってもらいました！子牛とのふれあいでは子牛のブラッシングや子牛の心音と自分の心音を聞き比べてもらいました！バター作り体験では牛乳からバターを作り、乳製品について学んでももらいました！

充実した内容に子供たちも大満足♪楽しみながらも、命の大切さと食べ物に対する感謝の気持ちを学んでももらいました！



自分たちで作ったバターのお味に子供たちも大満足！！



みんなで子牛を綺麗にしてあげましょ♪

うわあ～！
僕のあげたエサをおいしそうに食べてるよ～^^



勢いよく搾れますね～！
将来は是非、酪農家のお嫁さんに！！



◆ミネロファームでの生乳出荷量がいよいよ1日2トンを超えました！

ミネロファームから毎日出荷している生乳。10月中には難しいと思っていた1トンを超え、11月17日にはなんと2トンを超えました！10月5日の初出荷時は145キロでしたから、すごい勢いで出荷量が増えてきたのがわかります。これも分娩が進み子牛がたくさん生まれてきたからにはかなりません。子牛のためのお乳を分けていただいている…そんなことも近くで見ていると実感として感じてきます。

牛乳を飲むことって、水よりもスポーツドリンクよりもましてや清涼飲料水を飲むことに比べて、身体にも気持ちの上でもとても良いことをしている食品ですよ。とても栄養豊かな牛乳。毎日1杯の牛乳を大切に飲みましょう！

◆第3弾！初妊牛30頭が追加導入されました！



12月14日金曜日、ミネロファームに3回目となる初妊牛の導入がありました。これでミネロファームで飼養している乳牛は合計で135頭。

当日は別件での取材が数社予定されていたこともあり、メディア各社にとってはグッドタイミングとなりました。

今回導入された乳牛は前回同様北海道からで運搬車2台分の30頭。

ミネロのスタッフにとっては今回で導入が3度目となり、表情にも余裕があって、テレビ局の方々からの取材にもたくさんの笑顔で応じていました。事務局のスタッフも牛を引っ張ったり書類のチェックをしたりと、慌ただしくお手伝いしていましたが、こちらはどうもまだまだ初心者。どちらかと言えば牛に振り回されている感が否めません^^;

年度内には計画通り150頭まで導入し、2～3月には日量4500kgの生乳出荷を目指しています。

◆12月4～6日、口蹄疫からの復興を進める、宮崎県の酪農家さんを訪問してきました。

3.11から1年9か月余りが過ぎました。福島県内76戸の被災酪農家のうち13戸が経営再開を果たしましたが残りは未だに休業状態で避難生活が続いています。FAR-Netでは復興牧場ミネロファームを立ち上げ被災酪農家の支援とコミュニティの場の提供を開始するとともに、再開を果たしていない酪農家の精神的な支えを目的として、視察研修及び意見交換会を行いました。

平成22年に発生した宮崎県の口蹄疫は5月の爆発的な感染の拡大により、国内初のワクチン接種が実施され、8月に終息宣言が出されるまで、被災農家1304戸、殺処分頭数は約29万頭という大きな被害をもたらしました。

酪農では51戸が被災し、2500頭の乳牛が殺処分されました。このうち経営再開されたのは37戸、乳牛1600頭、再建率72.5%となっています。

私たちは「突然の大惨事」、「目に見えない感染・汚染の脅威」、「酪農の休業」をキーワードに宮崎県で被災した酪農家との交流と対応を迫られた組織の在り様を基に復興へのビジョン形成を図ります。

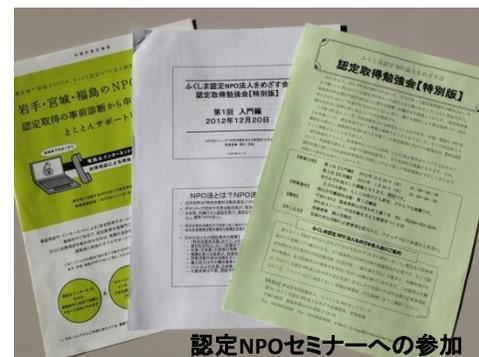


蔵王酪農センターへの視察

ミネロらしい教育ファームのあり方とは？

教育ファームのあり方や運営の仕方、皆様に満足いただけるカリキュラムは何だろうか。

他の牧場も参考にしながら、ミネロファームらしい内容を企画してまいります。



認定NPOセミナーへの参加

FAR-Netは認定NPOを目指しています。

税制優遇(所得税の税額控除制度)で寄付者へ恩返しでき、双方に大きなメリットのある制度です。私たちはセミナー等に積極的に参加し、認定NPOを目指しています。